

# 日本原子力学会核燃料部会 平成19年度第二回運営委員会議事録

日時 : 平成19年7月20日(金) 12:20~13:20

場所 : 黒部観光ホテル 会議室

出席者 : (順不同 敬称略)

岩田部会長、山本副部会長、安部田委員、磯部委員、伊東委員、今村委員、来山委員、木下委員、杉崎委員、高島委員、寺井委員、松浦委員、三島委員、佐藤先生(塩川委員代理)、原氏(阿部委員代理)、樋口氏(平井委員代理)、中村(仁)氏(更田委員代理)

## 議事

### 1. 前回運営委員会の議事録案確認

今村委員から、資料No.1に基づき前回運営委員会の議事録案が提示され、了承された。

### 2. 運営委員の変更について

今村委員から、資料No.2に基づき、運営委員3名の変更について紹介があり、了承された。あわせて配布した委員名簿記載項目について確認頂くこととし、確定後各委員にメール配布することとした。

### 3. 平成19年度「秋の大会」部会企画セッション企画立案状況報告

・木下委員から、資料No.3に基づき2007年秋の大会企画セッション及び燃料研究関連会議の準備状況について経過報告があった。大会企画セッションは9月28日午後開催されることとなっており、「計算科学と加速器照射は実機燃料照射試験の壁を超えられるか？」と題して3件の発表及び議論を行う予定である。

・燃料研究関連会議として、新クロスオーバ研究合同シンポジウム(11/12)、MMSNF-6(11/14,15)を予定している。MMSNF-6については、原子力学会協賛の申請を部会等運営委員会を通じて提出する予定。

・岩田部会長から、近年は基礎研究に予算をあてることは限界にきており、原子力委員会、METIに対しては出来るだけ宣伝をしていくべきであり、新クロスオーバ研究については、宣伝の場ととらえるべきとの意見が出された。さらに、グループの中で専門性を高め、やるべきことはやるとともに、外に向けてはアピールしていくことも忘れないようにすべきとのコメントがなされた。

### 4. 次回部会報(No.43)の企画立案状況報告

高島委員から、資料No.4に基づき、次回部会報の立案状況について、前回運営委員会の紹介からの追加分を中心に紹介され、審議した。夏版は8月末までに原稿を提出頂き、9月にはpdfファイルで配布するとの計画である。

・冬版については、「企画セッション」は木下委員に、「国際交流ニュース」は山本副部会長に、「後輩に物申す」はMMC秋元顧問にお願いする計画で、次回運営委員会にて提案される予定。また、是非執筆したいという方があればHPで募集するとのことである。

### 5. 平成20年度夏期セミナー企画立案状況報告

中村氏(更田委員代理)から資料No.5に基づき、平成20年度夏期セミナー(幹事:京都大学、JAEA)の開催期日、開催場所等の検討状況の説明があった。

・四国地方を第一候補地としており、四国電力委員に協力依頼があった。

・次回運営委員会にて、より具体化した計画を審議する予定。

### 6. 三部会合同日韓夏の学校について

山本副部会長から、資料No.6に基づいて、事業計画の説明があった。

・核燃料関連は、核燃料部会国際担当の更田委員、木下委員と相談のうえ、プレナリセッション1件、パラレルセッション4件の発表件名を作成している。全件とも受け入れられそうであり、近々に決定の通知が来る予定。

### 7. ホームページ活用アンケート結果について

今村委員から、資料No.7に基づき5月~6月に実施したアンケート結果について紹介があり、議論した。提示された以下の意見を踏まえて、アンケートを頂いた方を中心

に議論を進めることとした。

- ・オプションになるとつらいが、メンバーの皆が作業場所としていくと様々な用途に使える、
- ・関係者に情報を連絡するときには横の連携が広がっていくので活発になる。
- ・ブログはコーディネータが必要で大変。掲示板は一時期盛んになっても廃れる懸念がある。
- ・写真が多いのが良い。東大・寺井研究室のHPは画像の掲示が多く、毎日更新しているの、参考になる。
- ・キーをかける必要はないかとの意見もあった。

## 8. その他

- ・部会長から、部会報に関連した議論の中で以下のコメントがあった。日本の学会は細分化されているが、欧米は学会関係者が政府に提言するといったことをやっている。その方が相手も安心する。戦略的に動くべきであり、すこしづつ走っていく人を増やしたい。昨日のセミナーで安先生の話にあったが、米国の廃棄物処理も長い議論を経て理解を深めている。特に廃棄物処理は命取りになりかねなく、サイレント・マジョリティが納得する流れを作る努力が必要。
- ・伊東委員から、16thPBNCの開催予定等について説明があった。開催は、青森において2008年10月の予定である。7/31に運営委員会を予定しており、発表件名をまとめる必要がある。燃料関連では2つのカテゴリーがあり、“Nuclear Fuel Cycle”についてはメーカからトピックス各1件、全5~6件のセッションとしたい。アブストラ外締め切りが本年9月28日となっており、本運営委員会参加の各メーカ委員に対して依頼がなされた。“Nuclear Fuel Technology”のカテゴリーについては、燃料ロードマップを寺井委員に、燃料・材料開発のレビュー・ペーパーを木下委員に、燃料安全研究レビューを更田委員に、JMTRIについてはJAEAに依頼することとしている。
- ・次回運営委員会は、「秋の大会」で核燃料企画セッション、総会を予定している9月28日午前に開催することとなった(於：北九州国際会議場)。

以上

---

過去の運営委員会議事録の一覧はこちらです。

### [過去の運営委員会議事録一覧](#)

[もどる](#)

---

(c) [日本原子力学会核燃料部会](#) : 2007-08-08